

## 【生活】

クリスマスイブにサンタがケーキをプレゼント

社員の誕生日やクリスマスイブにケーキを贈る企業は多くありますが、社長と専務がサンタクロースに扮し、社員宅へケーキを運ぶという驚きの企業が長坂養蜂場（静岡）です。

創業は一九三五年、売上高は五億四〇〇〇万円、三代目社長の長坂氏が率いる同社は、社員数三一名のはちみつ専門店です。

楽しいことも大変なことも、ミツバチのようにお互いを支え合い、分け合い、真の家族のような絆をつくり、社内の温かい雰囲気をお客様、取引先、地域へと広げていこうとする「大家族主義経営」を展開しています。

### ●子供たちが「サンタの本物が来た！」と大喜び

以前は、毎年のクリスマスイブには社員の家へホールのクリスマスケーキを贈っていましたが、二〇一一年に社長や専務に子供ができ、クリスマスパーティーを行った時に、自分の子供や姉の子供たちのためにサンタに扮してサプライズプレゼントをしたのですが、子供たちが目を丸くして「本物が来た！」と驚き、大喜びしてくれました。

その様子を見た時に、社員の家族やその子供たちにもこの驚きと喜び、そして夢を届けたい  
と思ひ、翌年からサンタの衣装を調達してケーキを贈ることをスタートしました。

### ●家族との時間を大事にしてほしい

クリスマスイブの夜、小学生以下の子供がいる社員（二〇一四年時は七名）の自宅へ、事前  
に聞いて買っておいたプレゼントとケーキを持って、サンタ姿の社長と専務が訪れます。

プレゼントとケーキを渡し、子供たちと一緒に写真を撮ります。心待ちにしている子供たち  
からサンタへ手紙やプレゼントが逆に贈られたこともあり、家族とサンタに扮する社長・専務  
にもうれしいイベントになっています。

ちなみに小学生以下の子供がいないスタッフへもクリスマスケーキを贈り、大人になっても  
家族との時間を大切にしてもらおうようにしているそうです。

このクリスマス感謝制度にかかる費用は、毎年一八万円です。大家族主義経営ならではの心  
温まるイベントで、お互いを思う気持ちが社内全体に広がっていくようです。